

「寝たきりにならないですむ。希望が見えてきた」(患者さんの声より) 刺さない鍼で、氣を整え、生命力をアップ。痛みや不安の解消へ



今野先生を治療の仕事に導いたのは全盲の師匠。柔らかな指先に神経を集中させての施術

「昨今、見直されてきている東洋医学。総合病院に漢方内科の設置が進んでいることから、その期待の高さがうかがえる。大まかにいえば、西洋医学が体の

部分患部を診るのに対し、東洋医学で診るのは体全体の気の流

れ。陰陽の気の流れを整えることにより痛みや病を改善していくというもので、東洋医学に



刺さない鍼(接触鍼治療)は、触られた感じもわからないほど痛みがない

は漢方薬による薬物療法と鍼灸による物理療法がある。「まだまだ知られていない伝統鍼灸について、もっと多くの人に知ってもらいたいですね」と話すのは、那智が丘こんのはり灸院の今野毅先生。先生は、体表面のツボに鍼先を当てるだけの刺さない接触鍼による経絡治療で、様々な病や痛みを悩む患者さんの症状を改善へ導いてきた。長年、ひざ痛に悩み整形外科に通っていた人が、もうこれ以上治りませんよといわれたことで、今野先生のところへやってきました。「ひざならよくなります」と答へ、その言葉通り、患者さんは今では杖も使わず旅行にも出かけられ

るまでになったという。同じく病院で手術しかないといわれた脊柱管狭窄症の患者さんも、施術開始から1カ月で歩けるようになり、寝たきりになっ

てしまうという絶望感から開放され、最近希望が持てるようになったと報告してくれたそうだ。こうした施術例は枚挙にいとまがない。陰陽のバランスが崩れた気の流れを整えていくことで、一人一人が持つ生命力を上げていきます。生命力がアップすれば体内を正しい状態にしていく自然治癒力が働き、様々な症状が改善されていくのです」

3千年もの長い臨床実績のある本来の伝統鍼灸は、長寿社会を迎えた今こそ必要になってきていると、先生は話す。たとえば90歳まで生きるにしても、自分のことは自分でできる90歳でありたいと望むのは当然のこと。そのためにも生命力を上げて元気に暮らしたいところだ。いわれてみれば「病氣」とは気が病むとき、気が整って元に戻ればまさに「元氣」となる。最近若い人でも、肩や腰の痛

みで来院する人が多くという。症状が改善すると今度は、やせるツボや肌がきれいになるツボはありますかと聞かれるのだ。そう。気が巡って健康になれば、体は自ずと引き締まってくる。肌や目に輝きが出ます。それこそ、元氣は「やる気」の輝きとなって現れてくるということだ。



地下鉄仙台駅から徒歩3分。仙台朝市の中の新仙台駅前ビル3階にある



仙台仮庵店
仙台市青葉区中央3-8-5 328号室
受付時間/9:00~21:00
完全予約制 当日も対応
予約電話番号は本院共通
こんのはり灸院 検索

本院
名取市那智が丘4-1-15
☎022-393-4030
受付時間/9:00~18:00
完全予約制 往診も対応
時間外出張/7:00~22:00
休診日/日曜 他臨時休業日あり

月1回、志の高い鍼灸師たちのグループ「東明塾」で勉強・研究し、常に切磋磨き続ける今野先生。スタート時からの出張施術は、今も続けている

